

昭和 議会だより

第 **81** 号

平成28年7月15日 6月定例会

<群馬県昭和村議会>

Contents

- 2~3 6月定例会
- 6~9 村の姿勢を問う
- 11 あの問題は今…
- 13 みんなの声



第2回昭和村河岸段丘ハーフマラソン

スポーツ振興助成事業

回 やさい王国昭和村

丘ハーフマラソン



6月定例会

6月定例会は、6月7日から14日までの8日間の会期で開催されました。
今定例会は、諮問1件、報告2件、承認8件、議案3件の計14件が提出され、原案のとおり可決しました。また、4人の議員が一般質問し、村政の課題について村当局の答弁を求めました。請願、陳情等については、各常任委員会で審査しました。

人事

人権擁護委員の推薦

今梶 憲雄氏を再任



滝久保

承認(専決処分)

税条例の一部を改正する条例

省エネ改修を行った住宅に係る固定資産税の減免措置の見直しと適用期限を2年延長する改正。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

基礎課税額の当該合算額を52万円から54万円に改正。後期高齢者支援金等課税額は、当該合算額を17万円から19万円に改正。

国民健康保険税の5割軽減措置についての改正では、被保険者の乗すべき金額を26万円から26万5千円に、2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定において、被保険者数の乗すべき金額を47万円から48万円に引き上げる。

固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正により、固定資産評価審査委員会条例の規定に係る経過措置の明確化を図るための改正。

平成27年度一般会計補正予算(第8号)

5232万5千円を追加
総額42億3683万8千円
地方譲与税981万2千円、地方交付税1億3719万7千円を増額。
県支出金2106万6千円、財政調整基金繰入金1億2099万円などを減額。

平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

2720万6千円を追加
総額14億1362万1千円
一般被保険者療養給付費の増額等。

平成27年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

41万円を減額
総額7億6612万7千円
介護老人保健施設の給付費の減少等により減額。

平成28年度一般会計補正予算(第1号)

4611万4千円を追加
総額39億1911万4千円
「緑の大地ふるさと」

うわ」のふるさと納税による増額。

平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

500万円を追加
総額1億3279万8千円
水道施設のポンプ購入のため増額。

専決処分につきま
しては補助金等の確
定により3月31日付
で予算額を確定。ま
た条例改正を行った
ものです。

報告・議案

平成27年度繰越明許費繰越計算書

自治体情報システム整備
事業 1730万円、光
ファイバー施設支障移転工
事事業208万3千円など。

土地開発公社の財政状況報告

普通預金の金利による収
入3687円の利益。

固定資産評価員の選任同意
澤浦 正氏(税務課長)を
選任。

平成28年度一般会計補正予算(第2号)

1億5179万5千円を
追加
総額4億7090万9千円
通知カード、個人番号
カード事務交付金 191
万1千円、農業・食品産業
強化対策整備交付金1億1
644万6千円、多面的機
能支払交付金 899万1
千円、寄付金100万円な
どを増額。

土地開発公社の定款変更

「郵便貯金」の文言を削
除。



提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		林祐司	藤井貞充	藤井照明	高橋隆雄	永井一行	横坂末吉	兵藤喜孝	加藤生	藤井富夫	林幸司	加藤美昭	高橋昇三
第2回定例会 (平成28年6月7日~14日)													
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第2号	専決処分事項の承認を求めることについて(税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第3号	専決処分事項の承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第4号	専決処分事項の承認を求めることについて(固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第5号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成27年度一般会計補正予算(第8号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第6号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第7号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成27年度介護保険特別会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第8号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成28年度一般会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第9号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第1号	平成27年度繰越明許費繰越計算書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第2号	土地開発公社の財政状況報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第31号	固定資産評価員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第32号	平成28年度一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第33号	土地開発公社定款の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

消火栓新設 2箇所を採択

森下鎌沢地区・中組地区より提出された消火栓新設の請願、陳情箇所を現地調査し全会一致で採択。

委員会の意見

◎いずれの地区も新興住宅地で、水道本管から距離があり多額の工事費が予想されるが、住民の安心安全の確保、今後両地区とも宅地化がさらに進むと思われる。



区長より現地説明

世界遺産「富岡製糸場」を視察

日本の産業革命発祥の地であり、繊維業界をリードしてきた富岡製糸場、田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴を構成資産とする「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、平成26年にユネスコ世界遺産委員会で世界遺産一覧表に記載されました。富岡市担当職員より場内の案内、説明を受けた後、世界遺産経済効果、維持管理費、人件費等の話を伺いました。今後の参考にしたいと思います。

議会全員協議会

(出席者：議員12名、議会事務局2名、村長、教育長、各課長・係長) 議会全員協議会(以下、全協)は毎月開催されており、定例会がある月は会期中に行われています。6月定例会中の全協での協議事項は、以下のとおり。

1. 昭和の森山荘、ゴルフ場の経営状況について

村の指定管理者であるグリーンスコール(株)代表取締役社長 加藤氏より経営状況について説明を受ける。

売上げは、昨年と比較すると大幅な売上増であり、社長以下経営陣の並々ならぬ努力の結果であると思われる。しかし、一方で山荘の老朽化、ゴルフ人口減少問題等があり将来に向けての対策も話し合われた中で「昭和村の限られた宿泊、観光拠点」であり、こういう空間は残すべきとの意見が多かった。第5次総合計画でも「赤城高原交流ゾーン」に指定されている。

2. 県道昭和インター線について

アクセス道路から君河原橋に接続する道路の形状等の説明を受ける。

【平成28年3月から5月までの売上げ】 ()内は昨年同月の売上げ

平成28年	3月	4月	5月
ゴルフ場	47万1,550円 (オープン前)	317万3,967円 (285万8,410円)	466万6,108円 (444万4,157円)
山荘	47万1,247円 (オープン前)	201万1,320円 (185万6,015円)	430万3,049円 (254万6,851円)

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

1 件の請願を採択、1 件を継続審査

6月10日に文教産建常任委員会を開催し付託された請願について現地調査を実施し、その後、審査を行いました。

川額地区の請願箇所を審査

下り根岸線道路改修のお願いについては、地域住民にとって大切な生活道路でもあります。農業集落排水事業に伴い、舗装が沈下していて通行に支障をきたしており、改良工事を行うべきとのことから全会一致で

採択となりました。

中野地区の請願箇所を審査

村道中野5号線の舗装整備、改修を求めることについては、当該村道は未舗装のため、畑への雨水が流入するなど現在は道路としての機能がなくなり水路となっているため、舗装・改修整備をお願いする請願となっています。しかし境界や幅員など、地権者との確認が必要なこと。また、流末の処理などを再度、確認し、結論を出すべきとのことから、全会一致で継続審査となりました。



区長より現地説明

上野三碑を視察

芸術文化の振興と文化づくりの推進のため、上野三碑の山上碑と多胡碑、金井沢碑を視察いたしました。

3. 地域密着型サービス指定業者の公募にかかる選定結果について

事業者名 株式会社野田
コミュニケーションケア
代表者 代表取締役
野田 勝也
昭和村大字糸井2269番地

設置予定地 昭和村大字糸井大井戸840番地5

上記の業者を選定したことの報告、説明を受ける。

午後から議員だけで村政全般についての話し合いが行われた中で、役場庁舎の耐震化問題と村農産物のブランド化問題が取り上げられた。

耐震化問題では

◎庁舎は昭和45年に建設され46年が経過している。平成22年12月からの耐震検査では「大規模な改修が必要」で性能ランクはDランクとの結果報告を受けている。

◎熊本地震の被災地では庁舎が倒壊し対策本部として機能せず復興作業に支

障をきたしている。等の意見があった。

議会でも、村づくり対策特別委員会の横坂 末吉委員長、永井 一行副委員長が担当し、勉強会を行うことに決定した。

農産物ブランド化問題では

◎TPPを始めとして村の基幹産業である農業を取り巻く環境が国際化、多様化する中で農業委員会と協力し、消費者目線にたつて昭和村の農産物を見つめ、更なる競争力強化を目指すべきでは。

◎国、県が農産物の輸出促進を奨励している。村にも輸出等促進協議会があるので協力し合い国際競争力のある農産物とはどのようなものか議会も勉強すべきでは。等の意見があった。

議会でも総合開発対策特別委員会の林 祐司委員長、藤井 照明副委員長が担当し、勉強会を行うことを決定した。

役場庁舎の耐震性について



永井 一行 議員

議長 庁内検討委員会を組織

問 役場庁舎の耐震診断で大規模な改修が必要との結果が出ているが、築46年ということを考えれば建て替えも選択肢に入れるべきと思うが考えをお伺いしたい。

答 職員を委員とした耐震対応庁内検討委員会を組織し、検討しています。建て替え、改修の両面から調査を重ね報告書を作成し、村内有識者を交えた耐震問題検討委員会にて審議をお願いしたいと考えております。

庁舎の改修・建て替えについて

問 改修にしても建て替えにしても、多くの予算と村民の理解を得てということになれば時間が掛かる。他に誇るような庁舎でなくても弱者に優しく住民サービスが滞ること無く職員が安心して効率よく仕事ができればよいと思うが、考えをお聞かせ願いたい。

答 どちらにしても立派な庁舎を建築する気持ちはありません。現在の行政運営に必要と思われる設備と住民の皆さん誰もがサポートなく訪れられる空間や設備を備えた形で検討していきたいと考えております。

在留資格外国人の災害時の対応について

問 村内在住の外国人は、360人以上います。内、技能実習資格の人は8割を超え、長い人でも2年と短く日本語もあまり理解していない

答 非常時の情報伝達に言葉によるものでは伝わりにくいと思うが、対応策は。

伝達方法などは防災行政無線のサイレンや緊急告知ラジオの自動大音量放送などによるものがある効であると考えます。政府が災害時の避難場所を

示す図記号を全国的に統一し、国際規格への登録を進めています。村としても一目で分かるような図記号を作成して必要施設へ掲示するなど対応してまいりたいと思っております。





加藤 生 議員

ふるさと納税の状況は

村長 納税総額 3,005万4千円

問

ふるさと納税の総額は。また納税者からの利用目的の指定はありましたか。またお金は「緑の大地ふるさとしようわ基金」に積み立て、その後、次年度以降基金の活用はどのように考えているのか村長の見解を伺う。

答 村長

5月末までのふるさと納税はクレジット・郵便

振替合わせて3005万4千円の受付です。事業指定では教育文化に625万円・健康福祉897万5千円。自然生活環境457万5千円・農業産業振興458万円・その他村長が認めた事業567万4千円です。次年度の当初予算に寄付者の意向を考えた事業に活用を考えています。

義務教育のあり方は

問

全国学力・学習状況調査の結果は如何だったのか。今後の小学校児童の知育・徳育・体育・情操教育の進め方は。また中学生の凡時徹底・プラス思考をどのようにに教育に生かし進めるのか。それから英語学習に伴う小中一貫教育について吉澤新教育長の見解を伺う。

答 教育長

調査結果に一喜一憂す

るのでなく、子供たちの生きる力の育成を目指し確かな学力、豊かな心、健康な体をバランスよく育成したいと考えています。教育では基本的な生活習慣・学習習慣の育成が大切です。凡時徹底は、言葉使い、心遣い、服装、挨拶、時間の厳守、他者の尊重、勤勉、助け合いなど、人として行うべき道の質を高め、習慣化して事に当

たる、これにより謙虚に学ぶ心が育つと思います。昭和中の生徒は真面目で一生涯懸命であるがおとなしいと言われてます。グローバル化が進むなか社会のなかで自己主張出来る資質が大切だと思います。英語教育については小学校で楽しく学びその楽しさを持続しながら中学校英語授業に繋げる小中一貫学習となるように準備を進めたいと思います。





兵藤 喜孝 議員

横浜市との取り組みは

村長 産業発展プロジェクトを



問

昭和村は、横浜市と友好交流協定を締結してから2年8ヶ月が経過した。市民と村民が活発な交流を行い、地域の活性化につなげ、お互いの繁栄と幸福をもたらすためにしっかりと取り組みを行うことが大切である。交流事業について説明をいただきたい。

答
村長

- ①両市村の住民交流事業
- ②こんにゃく芋を活用した村のPR事業
- ③

横浜市の小・中学生を対象としたアドベンチャー事業参加 ④メールリングリスト(※)で、昭和村のサポーター通信を横浜市民等に毎月配信。これらの事業は、今後も継続していく予定であります。

(※)電子メールを使ったインターネット活用法のひとつで、あらかじめ登録されている人全員に同じメールを配信できる仕組みのこと。

新たな交流事業を示して



横浜の子どもたちとの交流

問

横浜市との交流事業は、村民も新しい可能性が広がるのではと大きな期待をしている。これから、どのような交流事業を行っていきたいのか。

答
村長

職員の人事交流や本村の農業振興と横浜市の港

湾利用促進を図るとともに、産業発展プロジェクトを考えており、さらに本村を訪れた横浜市民が公共施設等を利用する場合、村民料金の適用や優待サービスが受けられるような制度を今後、検討していきたいと考えています。



林 幸司 議員

安全神話を改め 災害対策の強化を

村長 決して安全とは認識していない。
災害に強い村づくりを推進

上毛新聞アンケート

県と35市町村長に、「自然災害の観点から、群馬は比較的安全だと思うか」と質問。

堤村長ら6割が「思う」と回答し、「根強い安全神話が浸透している」と報道されました。

孀恋村子育て拡充策

- ◎給食費の完全無料化
- ◎小中教材購入費の補助
- ◎中学生英検受験料補助
- ◎保育料の完全無料化
- ◎出産祝い金の支給

問

日本列島全体が活動期に入り大地震や噴火が、異常気象による大災害も多発し、対策の強化は急務だ。しかし、県内では根強い安全神話が浸透し遅れの要因に。神話認識を改め、BCP（業務継続計画）策定、庁舎耐震化、住宅の診断・耐震改修補助制度など、施策の拡充を求める。

答
村長

決して安全とは認識しておらず、熊本地震の教訓から、避難所の再確認や備蓄品の確保など、災害に強い村づくりに努めてまいりたいと思います。BCPは一刻も早く策定したい。庁舎耐震化では、年度内に有識者等と交えた検討委員会を立ち上げたいと考えています。住宅の改修補助については、拡充等を検討していきたいと思えます。

問

非正規雇用が4割にまで増え格差社会が広がり、6人に1人の子どもが貧困による教育格差に苦しむ深刻な事態だ。

子どもの貧困対策の拡充と、孀恋村並の子育て支援策の実施を

答
教育長

村独自で就学援助の所得基準の拡充を求める。孀恋村が拡充させた子育て支援策について実施するよう求める。

答
村長

保護者の低所得が子どもの貧困の要因。教育格差が生じないよう積極的な支援を図ってまいりたい。孀恋村は大変改革的であり参考としたい。子育ての経済的負担軽減と環境整備に取り組み、子育てしやすい村づくりに取り組んでいきたい。

少人数学級の実施を

問

南小の5・6年生と昭和中の2・3年生で、村独自の少人数学級の実施が急務。教育長の認識を伺うとともに実施するよう求める。

答
教育長

算数・数学・英語で学力向上特配教員を活用し、

学級を分けた少人数指導やTT（ティームティーチング）指導を行っており、村独自の少人数教員の配置は全額村負担となり財政が懸念されます。今後効果的な少人数指導やTTを活用することで対応してまいりたいと思えます。

横浜開港記念バザー視察



6月2日、今年で第85回目を迎える横浜開港記念バザーを視察し、昭和村ブースをはじめ、地方特産物や縁日コーナーなどが立ち並ぶ店舗を見学してきました。

また、友好交流協定・防災協定を結んでいる横浜市との相互連携と交流を深めるため、渡辺副市長や梶村市会議長らへ表敬訪問を行い、相互の情報交換を行いました。



玉村町議会と交流会

4月4日、友好交流協定を締結している玉村町議会との交流会が開催されました。
年2回ずつそれぞれの町村を訪れ、同じ町村議会として議員活動等について意見交換を行っています。

議会運営委員会 視察研修

5月11日埼玉県寄居町、嵐山町を訪れ、議会基本条例制定後の効果や成果、また議会活性化への取り組み等について研修いたしました。

ご教示いただきました諸事項につきましては、今後の議会運営と議会改革に取り組み中で、活かしていきたいと思えます。

高橋議長が利根郡議長会長に就任

5月16日付けで高橋昇三議長が利根郡議長会長に就任されました。

春の道路愛護巡視

村当局および文教産建常任委員会委員は、去る5月13日に道路巡視を行いました。これから雷や台風など大雨が降る季節になります。帰庁後、討論を行い活発な意見が出されました。



問

老人クラブ連合会から、いつでもどこでも、気軽にスポーツを楽しみ、高齢者の健康増進と生涯スポーツの充実を図ることを目的に、常設の「グラウンドゴルフ場」の整備をお願いする陳情が提出されました。



答

文教産建常任委員会において要望事項の審査を行い、多くの人が利用することができ、また、生涯スポーツの充実を図ることができることから、全会一致で採択し、意見として総合運動公園内での整備を検討することも含め、村当局に整備をお願いしました。



その後

平成27年7月から整備地の樹木の伐採に着手し、平成28年3月に常設の「グラウンドゴルフ場」が完成しました。

グラウンドゴルフ場は、緩やかな傾斜のある砂のコースで、全16ホールにホールポストとスタートマットが常設されています。

また、グラウンドゴルフ場の整備に合わせ、コース内に休憩所として「四阿(あずまや)」を設置し、利用者の利便性を考慮して、コース隣接地に乗用車が約30台駐車可能な「駐車場」の整備なども行いました。



利用料金

	1日	年間
村内者	50円	1,000円
村外者	300円	5,000円

問合せ先

昭和村教育委員会事務局
☎24-5120



グラウンドゴルフ場整備の陳情は

あの問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後、どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

(平成26年3月定例議会陳情)

みなさんからの請願・陳情

自 平成28年4月15日 至 平成28年5月30日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
29	H28. 4.15	消火栓の設置に関する請願書 (森下中組地区)	森下中組区長 綿貫 健二	加藤美昭	総務民生	採択
30	H28. 5.27	請願書 下り根岸線 道路改修のお願い について	川額区長 関上 博之	藤井照明	文教産建	採択
31	H28. 5.27	中野地区内の村道中野5号線の舗装整備、 改修整備を求める請願書	中野区長 林 正男	林 幸司 横坂末吉 林 祐司	文教産建	継続 審査
32	H28. 5.30	「被爆者が核兵器を禁止し廃絶する条約 呼びかけた国際署名や、国への意見書な どへのご協力をお願い」	前橋市大手町 原水爆禁止日本協議会 原水爆禁止群馬県協議会 滝沢 俊治			配布 のみ
33	H28. 5.30	陳情書 消火栓の設置について (森下鎌沢地区)	森下鎌沢区長 三井田 正夫		総務民生	採択

議会の動き

4月

- 16日 ●村の木「さくら」記念植樹
- 27日 ●議会全員協議会
- 29日 ●グラウンドゴルフ場オープニング
記念大会
●「昭和の日」記念イベント
●「やさい王国 昭和村」フォトコン
テスト表彰式

5月

- 11日 ●議会運営委員会視察(埼玉県寄居
町・嵐山町)
- 13日 ●春の道路愛護巡視
- 16日 ●利根郡体育協会総会
●昭和村教育研究会総会
●学校組合議員協議会
●学校組合臨時会
●広域圏定例議員協議会
●利根沼田国民健康保険運営協議会
- 23日 ●県町村議会議長会理事会
- 25~26日 ●県町村議会臨時総会・町村議会
議長研修会

- 26日 ●菜の花館と昭和村第一保育園との
交流会
- 27日 ●昭和村社会福祉協議会理事会
●昭和村土地開発公社理事会
●利根地方総合開発協会定期総会
- 29日 ●河岸段丘ハーフマラソン大会
- 30~31日 ●県町村議会議長・副議長研修会

6月

- 1日 ●地域密着型サービス運営協議会
●国民健康保険運営協議会
●議会運営委員会
- 2日 ●横浜開港記念バザー視察及び横浜
市会表敬訪問
- 5日 ●利根沼田消防ポンプ操法競技会
- 6日 ●昭和村敬老会及び福祉大会
- 7日 ●第2回昭和村議会定例会
本会議(初日)
●議会広報編集特別委員会
- 8日 ●議会全員協議会
- 9日 ●総務民生常任委員会
- 10日 ●文教産建常任委員会

- 14日 ●本会議(最終日)
- 16日 ●議会広報編集特別委員会
- 27日 ●昭和村農業研究会総会
●昭和村ボランティアガイドの会定
期総会
●昭和村簡易水道運営協議会
●議会広報編集特別委員会
- 30~1日 ●利根郡町村議会議長・事務局長研
修会

7月

- 1日 ●議会広報編集特別委員会
- 4日 ●利根沼田地域市町村懇談会
- 11日 ●総合運動公園内下草刈り
- 14日 ●村づくり協力委員会と花植え・意見
交換会
- 15日 ●昭和村青少年健全育成大会
- 16日 ●玉村町議会との交流会
- 26日 ●県町村議会議長会役員会

聞きたい、知りたい みんなの声

今回は結婚の森で記念植樹された3組のカップルの声をお届けします。

「昭和村での生活」

横坂 新吾さん
佳穂さん(田岸)



去年、結婚して昭和村での生活が始まり約一年とな

ります。

沼田市出身で農業があまり身近ではない環境で育ったので、毎日が新鮮で楽しい日々を送っています。

勤めていた会社を退職し、少しの間ですが家の仕事をお手伝いさせてもらいました。右も左も分からず全てが初めてでしたが、仕事の大変さや楽しさ、そして地域の方のやさしさなど多くのことにふれあえてすごく充実しています。5月には長女が誕生し、初めての育児に奮闘しながら家族と楽しい日々を過ごしています。これからも家族や周りの方と協力しながら生活していきたいと思っています。



「私から見た昭和村」

小林 勇さん
幸恵さん(入原上)



私は昭和村で生まれ、この昭和村ですっと過ごしてきたので、昭和村の良い所には気付かず今まで生活してきましたが、沼田から昭和村にきた妻の目から見ると自分とは違うことに気付きました。

私には当たり前のようにみえた赤城原の一面の広大な畑も、昭和村だからこそ見られる風景なのだと思えて気付かされました。昭和村の良い所は、こういう自然とのバランスのとれた環境で生活できるところなのだと思います。私たち二人は

今年二月に入籍しましたが、その時には私の友達や妻の友達、色々な方によくしていただき、昭和村の人たちはみんな良い人なんだねと妻が言っていました。まだ結婚したばかりで未熟な二人ですが、二人で力を合わせて今度は私たちが昭和村で少しでも恩返しができるように頑張っていきたいと思っています。



「豊かな昭和村」

竹之内 陽平さん
清加さん(根岸)



私は昭和村で生まれ育ち、今もこの村で生活を送っています。今年2月に

結婚し、実家から目と鼻の先にあるアパートに引っ越し、結婚生活を送っています。

実家は農業を営んでおりますが、長男でありながら継ぐ予定はなく、高校卒業後、就職した沼田市の企業で今も働いています。

私は小学校から野球を続けており、今は地元のチーム「昭和ジャガース」に所属しています。長い歴史がある中、県大会で優勝し、全国大会へ初出場することができました。その時、多くのOBの方々や村の野球関係者からお祝いを頂いたり、昭和村からも補助金を頂き、改めて、地元への思いや人と人が深く繋がっている村だと感じました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも昭和村での繋がりを大切にして更に若い世代へと繋いでいけたらいいなと思いました。

地域でがんばる人

マラソン実行委員会運営副委員長 竹吉美智男さん



(長者久保)

5月29日、天気にも恵まれ、区長さんをはじめ多くの各関係者・ボランティアスタッフの方々の協力をいただき、第2回やさい王国昭和田村河岸段丘マラソン大会が開催されました。参加者の多くの方から、昭和田村の人たちの心のこもったおもてなしや、沿道応援、農村風景、朝穫りレタスのおいしさなど、たくさん感動を得たコメントがあり、昭和田の良い所を知っていただけた大会になりました。



この大会は、村内の小中学生は参加費が無料です。親子ペア2kmの部もあります。私も親子ペアの大会に出場したことがあり、子どもが成長してみると、とても良い幸せな記憶になります。是非参加してください。

第2回の大会を終え、改善点もありますので、これからも実行委員会の理解をいただき、第3回の大会が開催できることと、この大会参加がきっかけで健康になり健康寿命群馬県一位になれると良いと思います。

夏野菜としらたきの酸辣湯

(昭和田管理栄養士 田中 梨紗)



栄養価 (1人分)
エネルギー：73kcal、塩分：0.7g

夏の健康ちよつとレシピ

材料 (4人分)

しらたき…150g、レタス…100g、トマト…200g、ベーコン…2枚、鶏がらスープの素…10g、酢…大さじ2、しょうゆ…小さじ2、卵…1個、水…600ml、黒こしょう…少々、ラー油…お好み

作り方

- ① しらたきは水を抜き、さっと洗う。ベーコンは短冊切りにする。
- ② レタスは一口大にちぎる。トマトは大きめのざく切りにする。
- ③ 鍋に水600mlを入れて沸かし、①を加え、ひと煮立ちさせる。
- ④ 鶏がらスープの素、酢を入れ、②を加えてさらにひと煮立ちさせる。
- ⑤ 溶き卵を流し入れ、しょうゆで味をととのえる。お好みで黒こしょう、ラー油をかけて出来上がり。

編集室から

今回の国政選挙から18歳での投票が行われました。海外ではすでに18歳での投票権を持つ国も多くて、日本は遅れていたとの記事を読みました。

最近、投票率が低く政治への関心が薄れている時での18歳投票権は注目すべき事と思います。今、国では一億総活躍社会とか、地方創生や色々な耳ざわりの良い言葉をなげかけています。最近では「新しい判断をした」と説明がありました。この一言で、今までの約束を反故にしても良い様な印象を受けます。大災害の時の「想定外」や「便利の良い言葉が出てきます。一人ひとり、良い判断で投票を行使する事が重要です。

一票の積み重ねが大切で、国の大きな力の源だと思えます。

藤井 貞充 記

議会広報編集特別委員会

- 委員長 藤井 貞充
副委員長 高橋 隆雄
委員 永井 一行 横坂 末吉
林 祐司 藤井 照明
加藤 美昭 高橋 昇三